

OCHA - 00323

書名

お茶の水女子大学附属図書館
月報 35

1 冊

所蔵者

お茶の水女子大学附属図書館

(備考)

請求記号

撮影

撮影年月

令和6年8月

お茶の水女子大学附属図書館

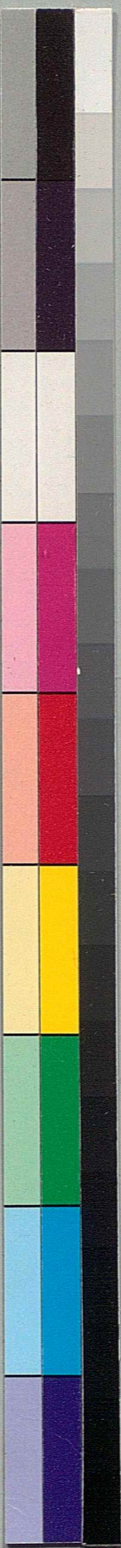


正月の伝統

津山 尚

今年の正月も仕草の關係で特別に正月らしくもできな
かったけれども、子供たちのために三宅をととのえて餅
をかざり、ウラジロを敷き、ユヅリハの葉と赤い実をつ
けたマフコウジを型どおりにそえて部屋の一隅にそれら

しいファンイキをつくり、一人よがりながら一先ずくつろ
いだものである。いさくとしたウラジロの葉の光を見
るとやはり何といつても正月は楽しいものである。
しかし正月もやがて五日を過ぎるとウラジロの葉はう
す汚なく乾いて茎き上り、子供達は汚いからかたづけ
くれと言いはじめた。一方妻の方からは十一日の餅雨ま
ではそのままそつとしておくものだとの声が出ている。
小生たるもの如何すべきか迷つてしまふ次第である。
日本では多くの人にとってクリスマスは単なる祭しみ
の日である。何となく、責任のない、わつと馬鹿騒ぎ
をする日になつてゐる。家庭ではツリーをたてて子供の
ために遊んでやればよい日である。正月はしかし全く違
う。正月にはやらなければならぬことが沢山ある。子
供対手のことではなくて、大人自身のために正月らしく
する必要がある。正月の用意のために主婦は噂の街を走
りまわる。正月の街の風景とクリスマスとそれとは全く
別の世界のように違ふ。街のどの人を見て、正月でな
い人は一人もない。晴がましい、しかし静かな、よそ行
の儀式のおいが、酒に酔いしれた人にさえ感じられ
る。これが正に伝統というものである。伝統とは外部
からのいかなる強制によるものでもなくて、各自の心の内
からそうせずにはいられない何ものかの力の働くこの力
と、この力が作った結果をいうのであろう。この力は正



月の場合は毎年であるが、ある一定の期間をおいて強烈に人々の心に立ちかえり、心をかりたてるものである。丁度母となった若い女が幼時にその母から聞き覚えた子守唄を我が子のため思い出して歌い聞かせるように、このように伝統は繰り返す歴史の波によって次の代に伝えられていくが、一方忘れてはならないことは、この歴史が一面では繰返えされることのない地球上の唯一回の歴史であることである。科学も社会も非可逆の変化と発展を人間の願望や慾求をこえて進めて行く。ここに伝統を固守し、これを次の代に伝えようとする立場と、非可逆の進行をそのまま受け入れる立場との背馳がおこる。この背馳は子と母の向におこり、社会的には約束事のない若い人々と社会でヤヤへといつた方がよいであろう(安定した地位にある者のより年の多い人々との向におこる。歴史の進行が速い時代にこの背馳はより強烈な形をとる。ここに現代の問題がある。

ウラジロの巻き上った姿は何う考えても美しいものではない。もし正月の約束にこだわらなければである。やがてウラジロの湿気は餅のカビをさえ誘うであろう。元采我が国の上代人は自然の美をそのままなおに生活にとり入れた点に一つの特長があったといわれる。これは我國の文化の独自の伝統となつて現代の生活にまで反映している。美しい木の葉や枝はそのまま食器となつたが、これは今日でも桜餅や柏餅として日常の生活に生き残っている。万葉の時代は既に上流の社会では相当高い文化生活をもつていたし、人工の食器に事欠くような

ことはなかつた筈である。それにも関わらず「稚の衆に盛る」の表現があるのは、たとえ征旅の道すがらの不自由さによるものとしても、なお風流の詩語としての意味があつたかも知れない。カシハという名は今日でも多くの植物の呼び名として残っている。そのカシワが直接に「炊ぐ」や「搗く」という意味に關係がないとしても、自然食器としての用途を暗示している点は見逃せない。上代の主食は主として餅または団子の形であつたと考えられている。餅は蒸して搗いて丸めたものであり、団子は乾燥したものを搗いて後にこれを固めて蒸したものであるが、ともに固形食である。この固形食は伝統を最も頑強にうけついでいる所の宗教や祭の儀式に際しての食品として正しく次の代に伝えられた。正月の供え餅の型式はこのように見れば自然食器を用いた上代の食品型式の残存形態である。三室には宝珠の形の宍があつたりして佛軟貝があるが、元采は床の上に丸太を二本ならべて上に板をおいたものが型式化したのかも知れない。伝統は儀式化という避けられぬ運命のために固定する。伝統は実用、別の言葉でいえばその時の社会環境の要求する合理的な結果をはなれて、次の時代には美や詩の対称となり、儀式化がすすむのに従つて單に型式のみがこのころ、そして儀式の名において社会環境からの離反が許される。かく考える時に、ウラジロの巻き上った葉は既に古典の形骸に過ぎない。もし上代人が今日いたならば勿論直ちに捨て去つてしまふであろう。尤も自然児である上代

人は再び裏山にわけ入つて新鮮で香高い光沢の葉を採つてくることである。我々のように都會に住むものは年の暮にのみウラジロを街で買うことが出来るだけである。裏山にウラジロの生えている田舎の人でも今日では正月になつて再び新葉を採ろうとはしないであろう。伝統とはそのようなものである。

伝統の墨守は最も思考という努力のいらぬ、「安全な」方法である。何となればそれは何回も繰り返えされて試され、誰からも文句がつかず、文句をつける人は異端者として葬り去るだけの集団的な力をもつたものであるからである。したがつて物を考えようとしぬ人、考えられない人、もろくの力のよわつた人、生活に追われて他を顧る余地のない人、伝統の圧力を積極的、意識的に利用して利益の得られる人々にとつてこの位便利なものはない。所が約束事の少ない人、若い人、ものを考えようとする人々にはそれが一種のつかみ所のない圧力を發揮する時に、これに反抗して見たいという対称になるのもまた自然のなり行である。

金田一氏の「國語の変遷」(創元文庫27年6月)くらい近來心をうたれた読物はなかつた。そこには國語が文法という考のない太古から意識されぬ自然の体系を伴いながら伝承され、進化発展して來た姿が打ち出されている。奈良朝時代の複雑な発音が整理されてくる過程、文語体へのこのる変格活用形や二段活用形が、自然に口語体の一

れにはいかなる外部からの統制力も働いてはいない。同じ言葉を経る人々の向の個々の慾求が歴史の流によつて少しずつ変化して行くのである。言語の性質上、伝統を無視した発展はあり得ない。國語の進化は伝統の正しい意味における発展を例示しているように思える。

我が家ではお供えは依然としてウラジロの上にある。ここでは伝統が改良されることなくそのままの形で勝つたらしい。暖冬の荒れ庭にウグイスが鳴く。正月の伝統に従つて朝からお屠蘇という名のお酒を頂きましょう。(一九五四・一・七) (植物学科教授・理博)

陶覽室の入り口△暖房

すでに諸姉も御存知のように、この一月から陶覽室に入チーム暖房が通りました。ラジエーターの数は戦前の約半数で、蒸気の通る時間も午後二時頃までですが、今までに較べると可成温くなったと思ひます。

この施設に要した費用は、昨年の四月に入學した本學学生の父兄による寄付金の中から、相当の額を割いていただきました。とりあえず、この事を諸姉にお知らせするとともに、図書館としても父兄の方々に厚く感謝の意を表します。

昭和二十九年二月十五日 発行
お茶の水女子大学附属図書館編集

新着図書の中から

中国古代の思想家たち

郭沫若 著 (A124221)
野原他二氏 訳

本書は、戦後中国の史学界に大きな反響を起した郭氏の「十批判書」の完訳である。本訳は原典の名が示すように、十篇の批判論文集よりなっているが、特に興味深いのは才一「孔子の批判」である。才二「孔子の批判」である。すなわち、才一篇では百篇の史料批判の不備を検討した後、奴隸制論に及び、殷代に原始共產制の末期、周代以降に奴隸制、秦代に封建制成立とした百篇を改め、殷周時代より戦国末に奴隸制、秦漢時代は封建制成立とし、更に「奴隸制時代」では春秋末に奴隸制、戦国に封建制成立の説を唱え

ている。この場合著者の云う奴隸制は、衆庶などの耕作奴隸を指すのではなく、古典型的なもののようなものであるが、更にこれに関連して諸侯百官に対する俸禄等級の単位、奴隸に対する課税動向の計算単位としての井田制の存在を肯定する。もちろん井田制に關しては軽々に論ずることはできないが、奴隸制論に対しても、古典型的形態を考へることはかなり疑問であろう。また奴隸制の崩壊、封建制の成立は、戦国末、春秋末のいずれに於けるにせよ、井田制の崩壊、私田・私家の発生にありとし、この変革時の戦いの主体を人民とすることによって、当時の戦乱が奴隸の解放をもたらしたと説くが、かような土地所有の発生を奴隸制の発展型態とするわが国最近の学説はしばらく指くとしても

それを荘園の発生に封建制の誕生と説く著者の説は、未だ厳密さを欠きはしないか。

次に才二篇以下の諸篇では、従来の諸研究に基き、歴史的社會を基礎構造とする時代意識の究明に意を注ぎ、特に才二篇では孔墨を批判して反動的墨子に対する孔子をもつてし、奴隸制崩壊期における人間解放の思想家とする著者の説は、論新にして興味深い。理論の展開に矛盾もある。とはいえ、多年に亘る研究の結果が総合濃集した本書は、多くの示唆と新しい視野とを与えてくれる。訳者の註は便利である。

楽園に死す

アンドレス 著 (C40405)
江野専次郎 訳

著者(一九〇六―)は一時ナチス禍をイタリに避けていたが、現在に帰国して中堅的な地位を占め、

精力的な活動を示しているドイツの作家である。三十年代初から相当の作品があり、詩、戯曲も若干あるが、本領は小説にある。物語力の豊かな構成的な作風で、若い頃修道院学校に入ったこともあり、思想的にはカトリックの立場にあると言われる。

この訳書は二つの短篇を収めている。「樂園に死す」(原題「われわれはユートピアだ」)は戦後盛んに読まれている。現在までに百三十万部を出しているという。アンドレスの全作品中最も完成したもので、現代ドイツの傑作という定評がある。スペイン革命中、ある修道院を直した捕虜收容所における物語である。人間はつねに善と善との向に置かれており、自ら決断しなければならぬという思想がテーマになっている。「おもかげ」は書筒体の小説で、カイロにおいて古代エジプトのデスマスクを研究している男の、再婚した母に対する感情を描いている。「樂園」はC・F・マイヤーの技巧を思わせ、

「おもかげ」はS・ツヴァイフのそれを思わせる。

東西数学思想史

細井 涼 著 (F501)

本書は西洋及び日本における数学の発達の歴史を述べたもので、著者が序文で言っているように特に極限概念の発達にその重点をおいている。著者は和算家の出身で、和算史に詳しいから、本書の和算に關する部分は、はわれわれに興味深い。従来の数学史の書は和算の部がなく、又和算では、独特の記号が使われるので、現在の数学の記号に書き替えて、和算がどこ迄発達していたか、関孝和が微積分を発見していたか、いつてもどこ迄いつていたか、それらの点を本書ではつきりさせている。才一章日本数学史要で、和算のパーस्पек

チーフが与えてある。才二章、極限概念思想史、こゝで極限概念の始まりから、微積分の発見、コーシの函数論、デデキントの無理数論、カントルの集合論まで述べ、日本の内理の概要を述べて、日本の積分学の発展の概観を与える。才三章では、方程式の理論の発展を述べ、簡単な証明をつけてガロアの理論まで説明している。才四章、初等幾何学の向題では、数学の三大向題(1)任意の角の三等分、(2)立方体の体積の倍化、(3)円に等積な正方形の作図を述べ、Eが超越数であることの簡単な証明がつけられている。次に平行線公理の歴史を述べ、非ユークリッド幾何学の発見まで述べてある。単に事実の羅列ではなく、各項に簡単な証明をつけて考え方の推移が示してある。微積分の初歩を知っている読者には、証明は理解できる。数学の発達史を知るには手頃な好書。

保育とその方法

高橋さやか著 (41259)

著者は言う。すべての教育の目的は、社会生活をいとなむ円満な人格の達成にあるが、人向以前のいきものである幼児には、まず人向の基礎的条件をそなえることを考えてやらなくてはならない。知識的に分化された教育にふれる前に、人向生活に懐念してゆける身心の機能を正しくとのえることを手伝ってやらなければならぬ。これが「保育」なのだ、と言う。そして幼児の中にある成長能力をよく理解し延ばすことがその方法で、決して要求したり与えたりするものではないことを主張し、方法論の基礎を小児科学と発達心理学においての学理的実践的研究が述べられ、実際の問題に對して明細な部門にわたり、親切にいぬい

な説明や表現など長年の経験からの豊富な資料が入っている。立派に準備体制をととのえてやって、さて人向教育へ出発させる、という考え方。

自然科学的世界像

ハイゼンベルグ著 田村松平訳 (130245)

著者は周知のようにドイツの指導的な理論物理学者で、量子力学の建設や、場の量子論の展開や、原子核宇宙論の理論的解明に大きな功績を残し、現在ドイツの原子力研究所の一人者。この著者は著者が折にふれて行った通俗講演や、雑誌に発表した論稿七篇をまとめたものである。内容はそれぞれ独立の題目から成るが文化活動の一翼としての理論物理学の最近二十年向の発展の意義を、各分野の動向との関連や、科学的な立場から分析している。まず「精密

自然科学の基礎の最近における話変革」では量子力学による物理学的概念の革命が、技術や他の科学認識論などの発達にどのような後割を演ずべきかについて論じている。次の「自然の物理学的説明の歴史について」では、物理学の思想の発達における所謂否定的な契機について歴史的に例をあげて説かれていく。さらに「現代物理学の原理的問題」「現代物理学における古代自然哲学の思想」「ゲイテの色彩論とニュートンの色彩論」などでは、古い物理学思想を現代的な観点から批判的に見直したもので、興味深いいくつかの結論がある。最後に、「自然科学的世界像の統一」「原子物理学の根本問題」では、現在向邊の焦点となっている素粒子像についての深い思想的洞察が中心となっている。すべてに亘ってよく整理され、圧縮されていく。著者の思想をつかむ

に好適の著書である。

今日のフランス音楽

松本太郎著 (40525)

本書の序文によると、美術史研究の学生として渡仏した著者は、始めてフランス音楽をその土地で、その国人に演奏されるのを聞いて得た感動によって、音楽研究に志したといふ。そしてこの感動を自身を分析し、それを生ませた芸術とその芸術の母胎となった環境の觀察に、情熱を傾け、本書を記述したという。今日のフランス音楽を語る予備として、著者はまずフランスの風土、歴史、社会的環境の全般にわたる解説を行い、ついで今日のフランス音楽を形成しているあらゆる分野にわたる知識が具体的に提供されている。作曲

家・演奏家はもちろんで、各種の演奏団体、演奏機関、放送音楽、シマソン、パレー、その他一切が記されている。観念的な音楽論に接するころは、現在比較的容易であろうが本書のこのとき、音楽芸術の精神と肉体の両面にわたって豊富な知識を与えてくれる点は、理想的な環境で音楽に接触し、それを鑑賞・理解することのできた著者にして出来ることであろう。本書は数十年に及ぶ綿密な材料の蒐集と觀察とが生んだ力作であり、今日を中心としたフランス音楽の鳥瞰図、案内記、百科事典といえよう。

「独逸追憶」の寄贈

このたび前学長野口先生より Deutsche Gedenkhalle を図書館に寄贈していただきました。これは今世紀のはじめ、独逸で発行され、カイゼル・ウイヘルム二世に献せられた独逸関係の歴史画集です。豪華な歴史画五十枚が一巻と、これまた豪華な四百十八頁の大版解説書一冊です。近日中にオニ窓覧室に展示しますから御覧ください。なお本書は野口先生がかつて恩師土井晩翠先生より記念にいただいたものだそうです。(係)

「蜻蛉日記」関係書目

単行本

日本文学全書 — 蜻蛉日記 — (明25) 博文館	C20.152
国文註釈全書 — 蜻蛉日記解環 — (明42) 坂 徹	C20.101.12
国文大観 — 蜻蛉日記 — (明42) 明文社	M40.166.9
有朋堂 平安朝日記 (大2)	M40.231.8
日本文学叢書 — 蜻蛉日記 — (大11) 広文庫	C20.133.10
国文学全史 — 平安朝篇 — (大12) 岩波書店 藤岡作太郎	C20.40
校註日本文学大系 才3巻 (大14) 国民図書	C20.104.3
宮廷女流日記文学 (昭2) 至文堂	C20.57
— 蜻蛉日記の伝本と註釈書 —	
— 道綱母の事跡について —	
— 蜻蛉日記にあらはれたる現実生活の破綻と懊悩 —	
王朝文学叢書 — かげろふの日記 — (昭2)	C20.228.11
日本文学講座 — 王朝時代の日記文学 — (昭3) 新潮社 池田亀鑑	C20.178.18
日本文学研講 — 日記文学と女性 — (昭5) 中興館 久松潜一	C20.32
国文学註釈叢書 — 蜻蛉日記解環 6巻 — (昭5) 名著刊行会	C20.115.6
国語国文学講座 (昭9) 雄山閣 — 蜻蛉日記註釈 —	C60.157.12
① 蜻蛉日記講義 (昭12) 喜田義勇	C20.317
日本文学の精神 (昭13) 大日本図書 久松潜一	C20.336
— 写実小説としての蜻蛉日記 —	

雑誌

国語国文

蜻蛉日記と和泉式部日記とをを通して見る両者の傾向と日記の意	昭和10年 3月
かげろふの日記併に同時代の物語共と源氏物語との関係 吉川理吉	昭和12年 9月
蜻蛉日記巻末と道綱の母の集について 三好英二	昭和17年 2月
藤原長能とかげろふの日記の記者ら 吉川理吉	昭和17年 6月
かげろふの日記の本について 吉川理吉	昭和11年 10月

国語と国文学

日記紀行文学の本質 池田亀鑑	昭和 2年 4月
随筆文学の本質 佐藤幹二	昭和 4年 4月
天曆期を背景として見たる蜻蛉日記の着者 斎藤清徳	昭和 4年 10月
蜻蛉日記に関する二三の考察 荒木田楠千代	昭和 6年 4月
蜻蛉日記に関する新発見 岡田 稔	昭和 7年 5月
蜻蛉日記人物考 阪口玄章	昭和 7年 6月
伝大納言殿母上集 荒木田楠千代	昭和 8年 1月
蜻蛉日記冒頭の考察 — 作品製作の基底 — 昭和17年 8月	
道綱母の文学に関する覚書 秋山 虔	昭和25年 6月

「和泉式部日記」関係書目

単行本

日本文学全書 — 和泉式部日記 — (明25) 博文館	C20.152.5
群書類従 正320 — 和泉式部日記 — (明38)	M40.26
国文大観 — 和泉式部日記 — (明42) 明文社	M40.16.6
有朋堂文庫 和泉式部日記 (大2) 塚本哲三	M40.230.8
日本文学叢書 — 和泉式部日記 — (大11) 広文庫刊行会	C20.133.11
王朝文学叢書 — 和泉式部日記 — (大13)	C20.228.11
校註日本文学大系 — 和泉式部日記 — (大14) 国民図書	C20.104.3
日本文学講座 — 王朝時代の日記文学 — (昭3) 新潮社	C20.178.18
和泉式部全集 (昭3) 日本古典全集刊行会	M40.236.66
日本小説史論 — 枕草子と和泉式部論 — (昭4) 至文堂	C22.172
宮廷女流日記文学 池田亀鑑	C20.57
— 和泉式部日記の伝本と註釈書 —	
— 和泉式部の争議と伝説 — (昭2) 至文堂	
① 和泉式部日記詳解 (昭12) 小室由三 田中栄三郎	C20.310
国文学女性史 (昭14) 刀江書院 川島秀二	C20.348
中古文学史論 (昭23) 明治書院 野村八良	C20.425
② 和泉式部日記新註 (昭24) 世界社 玉井幸助	C20.439
日本文学講座 — 和泉式部 — (昭25) 藤岡忠美	C20.463.2

雑誌

国語国文

蜻蛉日記と和泉式部日記とをを通して見る 両者の傾向と日記の意 和泉式部伝の研究	多胡順子	昭和10年 3月
	岡田布雄	昭和 2年 1月

国語と国文学

和泉式部とその歌	上田英夫	昭和 4年 10月
和泉式部日記の和歌に関する考察	田中栄三郎	昭和10年 3月
和泉式部と謡曲	田中 充	昭和21年 4月

「大鏡」関係書目

単行本

日本文学全書 一大鏡一 (明38) 博文館	C20.152.23
伴信友全集 一比古婆衣巻6一 (明40) 国民図書	M40.58.4
大鏡裏書 一 群書類従正449、25集一 (明40) 筆者未詳	M40.30
国文註釈全書 (明42) 国学院	C20.101.13
一 大鏡目録系図 土肥経平	
一 大鏡短観抄 大石千引	
一 大鏡裏書異本 着者未詳	
国文大観 八巻 一大鏡一 (明42) 明文社	M40.166.8
国民文庫 一大鏡一 (明43) 国民文庫	M40.161.29
有朋堂文庫 一大鏡一 (大2) 有朋堂	M40.243.18
校註日本文学大系 一大鏡一 (大15)	C20.104.12
日本文学講座 八巻 一大鏡鑑賞 小島政二郎	C20.178.8
巻16 一大鏡研究 一 五十嵐力 (昭2) 新潮社	.16
国文学研究 11集 一大鏡について一 戸井田直三	C20.334
(昭13) 早稲田大学国文学会編	
国史大系 一大鏡一 (昭14) 黒板勝美編	D11.229.21

雑誌

国語国文

大鏡雅考二條	岡田希雄	昭和10年 2月
大鏡の序をよんで	藤田豪之輔	昭和11年 2月
大鏡の着者は源俊房か	宮島 弘	昭和14年12月
箕山「大鏡」の定本について	野向光辰	昭和16年12月

国語と国文学

大鏡の人物裏面観	平林治徳	昭和 5年10月
大鏡研究の一方面について	岡田希雄	昭和11年 4月
大鏡の着作年代について	海野久平	昭和11年 8月
大鏡と今昔物語との関係を論じて再び大鏡の着作年代に及び	平田俊登	昭和12年11月

史学雑誌

大鏡の着作年代とその着者	西岡虎之助	38巻7号
--------------	-------	-------

「土佐日記」関係書目

単行本

日本文学全書 一 土佐日記一 (明25) 大橋新太郎編	C20.152.2
土佐日記考証 一 国文註釈全書12巻一 岸本由豆流着 (明42)	C20.101.12
平安朝日記集 一 土佐日記一 (大7) 有朋堂文庫編	M40.231.8
土佐日記舟の直路 一 橘守部全集才7巻一 (大10)	M40.137.8
土佐日記 (明43) 国民文庫刊行会編	C22.146
日本文学叢書 一 土佐日記一 (大11) 物集高見編	C20.133.10
校註日本文学大系才3巻 一 土佐日記一 (大14)	C20.104.3
定家本土佐日記 土佐日記地理辨附解説 (大14) 白石 勉編	C20.180
日本古典全集 一 土佐日記一 (大15) 日本古典全集刊行会編	M40.236
王朝文学叢書 一 土佐日記一 (昭2)	C20.228.11
定家本土佐日記 解説付一 (昭3) 育徳財団編	C20.59
日本文学講座 18巻 一 王朝時代の日記文学一 (昭3)	C20.178.18
国文学註釈叢書 (昭4)	
一 土佐日記一 土佐日記考証 鈴木弘恭	C20.115.1
土佐日記創見 香川景樹	
土佐日記解	
土佐日記地理辨 鹿持雅登	
土佐日記舟の直路 橘 守部	
群書類従 一 土佐日記一 紀行正327、18集 (昭4)	M40.26
日本文学原論 (昭12) 藤村 作	C20.299
古典の批判的處置に関する研究 池田龜鑑着	C20.362.1-3
1. 土佐日記原典の批判的研究	
2. 国文学に於ける文献批判の方法論	
3. 資料 年表 索引 (昭16) 岩波書店	
笑の研究 (昭22) 東京堂 麻生磯次着	C20.419
日本古典文学 一 土佐日記一 (昭25) 朝日新聞社編	M40.306.27
④新註国文学叢書 一 土佐日記 (昭26) 講談社編	M40.321

雑誌

文学

紀實之論	藤田徳太郎	昭和 9年 8月
紀實之の微苦笑	玉井幸助	昭和13年 8月
土佐日記に於ける和歌と散文	正木信一	昭和22年11月
土佐日記の一写本とその処置の向題	中村多麻	昭和16年 6月

国語と国文学

土佐日記の「ヤ行」の工の假名	池田龜鑑	昭和16年 6月
土佐日記新見	萩谷 朴	昭和22年 5月
土佐日記について	重反 毅	昭和23年 6月
土佐日記は歌論書か	萩谷 朴	昭和23年 6月

- ① 広島医学 6巻11号, 12号
九州齒科学会雑誌 7巻1号, 2号
鹿児島大学水産学部紀要 3巻1号
- 九州齒科学会
鹿児島大学水産学部
- ② Annales Academiæ Scientiarum Fennicæ. Series A. I. Mathematica-Physica. No. 151, 156, 157
Academiæ Scientiarum Fennica, Finland
- ③ Mathematical Review. Vol. 14, No. 9, 10
American Mathematical Society, Rhode-Island
- ④ Sankhyā. Vol. 12, No. 4
Indian Statistical Institute, Calcutta
- ⑤ Bulletin De la Société Mathématique De France. Vol. 81, No. 3
Société Mathématique de France, Paris
- ⑥ Studia Mathematica. Tom. 13 (2)
Redakcja Studia Mathematica, Wroclaw, Poland
- ⑦ Pacific Journal of Mathematics. Vol. 3, No. 4
University of California, Los Angeles
- ⑧ Quarterly of Applied Mathematics. Vol. 11, No. 3
Brown University Lib, Rhode-Island
- ⑨ Bulletin de L'Académie Polonaise de Sciences. Vol. 1, No. 3, 4
- ⑩ Communications from the Kamerlingh Onnes Laboratory of the University of Leiden. No. 285, 286, Supplement 103
Bibliotheek, Kamerlingh Onnes Laboratorium, Nederland
- ⑪ The Analyst. Vol. 78, No. 930-932
"Analyst", London
- ⑫ Endeavour. Vol. 12, No. 45-48
Endeavour, London
- ⑬ The Biological Bulletin. Vol. 105, No. 2, 3
The Marine Biological Laboratory, Mass.
- ⑭ Smithsonian Miscellaneous Collections. Vol. 121, No. 7
Smithsonian Institute, Washington
- ⑮ Eight Copies of Sonderabdruck der österreichischen botanischen Zeitschrift. Vol. 94, No. 1-2, Vol. 98, No. 1-2, Vol. 99, No. 1-5, Vol. 100, No. 3
Botanisches Institut der Universität Wien
- ⑯ Chromosa. Vol. 3, No. 1-2
Botanisches Institut der Universität Wien
- ⑰ Reinwardtia. Vol. 2, No. 2
Bibliotheca Bogoriensis, Indonesia
- ⑱ Treubia. Vol. 22, No. 2
Bibliotheca Bogoriensis, Indonesia
- ⑲ British Abstracts. C. Analysis and Apparature. Part 9, 10, 11
The Bureau of Abstracts, London
Information Bulletin. Vol. 12, No. 40-51
The Library of Congress, Washington
- ⑳ 大陸雜誌 (The Continent Magazine) 7巻8号, 9号, 12号, 8巻1号
大陸雜誌社, 台北市

Attempts. Jan. 1953
Universitätsbibliothek, Jübingen
The Library of Congress Quarterly Journal of Current Acquisition. Vol. 11, No. 1
The Library of Congress, Washington
Proceedings and Addresses of the American Philosophical Association. Vol. 26
American Philosophical Association
UNESCO Bulletin for Libraries. Vol. 7, No. 5-12, Vol. 8, No. 1
UNESCO, Paris

家政学関係

家政研究 1号
樟蔭家政学 4号

三重短期大学家政学研究会
大阪樟蔭女子大学

その他 (人文、自然、家政共通のものを含む)

研究論文集 4号
拓殖大学論集 5号
聖心女子大学論叢 3集
早稲田大学図書館月報 18号
学術情報 11号
学校図書館時報 3号
労働調査資料 (28年9月分)
婦人労働調査資料 16号
東京都立工業奨励館報告 1巻1号, 2号
放送文化 12号
インド事情
花郎 1巻2号
金城学院大学論集 2号, 3号
研究紀要 3号
社会福祉評論 5号
山口女子短期大学研究報告 2号
研究報告 1巻2号
日伊協会会報 1号 (1953年版)

宮城学院女子大学
拓殖大学研究所
聖心女子大学
早稲田大学図書館
文部省大学学術局
初等中等教育局
総理府統計局
労働省婦人少年局
東京都立工業奨励館
日本放送協会
東京インド大使館
花郎倶楽部
金城学院大学
名古屋市立女子短期大学
大阪女子大学社会福祉研究会
山口女子短期大学
長崎大学教養学部
日伊協会

Bochenski, I. M. (ed.)
 Johannes Duns Scotus, Bibliographische
 Einführungen in das Studium der Philosophie.
 Bern, 1953

寄贈研究雜誌類目錄

人文科学関係

- | | |
|------------------------|----------------|
| 小樽商大人文研究 7号 | 小樽商科大学 |
| 山形大学紀要(人文科学) 2卷4号 | 山形大学附属図書館 |
| 法経論叢 1巻1号 | 法経学会 |
| 文化 17巻6号 | 東北大学文学会 |
| 研究集録(人文科学編) | 日本学術振興会 |
| "(歴史・文学編) | |
| ①国立教育研究所所報 19号 | 国立教育研究所 |
| 東京大学新聞研究所紀要 2号 | 東京大学新聞研究所 |
| 幼児の教育 53巻1号 | 日本幼稚園協会 |
| 経商論叢 53号 | 中央大学経済商業学会 |
| 法政文学 2巻3号 | 法政大学文学会 |
| 経済志林 21巻4号 | 経済学会 |
| 法政 2巻12号 | 図書館 |
| ②心理学論文集 2号 | 東京女子大学心理学教室 |
| ③史論 1集 | 厂史学研究室 |
| 文学部論叢 1号 | 立正大学文学部 |
| 仲裁裁定書 15号—17号, 39集—45集 | 労働省公共企業体等仲裁委員会 |
| 大倉山論集 2輯 | 大倉山文化科学研究所 |
| 人文科学研究 5号 | 新潟大学人文学部 |
| 愛知大学文学論叢 7輯 | 愛知大学 |
| ④国語国文学報 3集 | 愛知学芸大学国語国文学会 |
| 櫻楓堂の過去と現在 | 大阪大学 |
| 緒方洪庵と適塾 | |
| Gallia 1号 | 文学部フランス文学研究室 |
| 樟蔭文学 5号 | 大阪樟蔭女子大学 |
| 人文論究 4巻3号 | 関西学院大学文学会 |
| ⑤関西学院史学 2号 | 史学会 |
| 人文研究 4巻11号, 12号 | 大阪市立大学文学会 |
| ⑥史学 1巻1号 | 厂史学研究会 |
| 文学論集 3巻2号 | 関西大学文学会 |
| 和歌山大学学芸学部紀要(人文科学3号) | 和歌山大学 |
| "(教育科学3号) | |
| 研究集録(教育心理篇) 7集 | 神戸大学教育学部 |
| 広島大学文学部紀要 2号, 3号 | 広島大学文学部 |

- 広島大学教育学部紀要 2号
- ⑦山口大学文学会誌 4巻2号
- 香川大学学芸学部研究報告 2部3号
- 文芸と思想 8号
- 中国共産党と婚姻関係
- ⑧孔子伝
- 教育通訊 14期—20期
- ⑨幼师 8期

- 広島大学教育学部
- 山口大学附属図書館
- 香川大学学芸学部
- 福岡女子大
- 東方文芸社
- 中央文物供志社
- 教育通訊社
- 幼师月刊社

自然科学関係

- | | |
|--|-----------------|
| ⑩北海道大学理学部紀要 4巻4号 | 北海道大学理学部 |
| 低温科学 物理篇11輯 | 低温科学研究所 |
| 山形大学紀要(自然科学) 3巻1号 | 山形大学 |
| ⑪りんどう 創刊号 | 宇都宮大学農学部生物班 |
| Journal of the Tokyo University of Fisheries. Vol. 40, No. 1, 2. | 東京大学理工学研究所 |
| ⑫東京大学理工学研究所報告 7巻5号 | 東京医科大学生理学教室 |
| ⑬東京医科大学生理学教室論文集 4号 | 商船大学東京分校 |
| 商船大学研究報告 4号A | 早稲田大学附属図書館 |
| 早稲田大学理工学紀要 17号 | 明治大学農学部 |
| 明治大学農学部研究報告 2号 | 統計数理研究所 |
| ⑭統計数理研究所集報 1巻1号 | 農林省蚕糸試験場 |
| 蚕糸試験場報告 14巻4号 | |
| 蚕糸研究 15号 | |
| ⑮農林省農産調査報告 No. 26 | 農林省統計調査部 |
| ⑯淡水区水産研究所研究報告 2巻1号 | 水産庁淡水区水産研究所 |
| ⑰曹気試験所集報 17巻10号, 12号 | 曹気試験所 |
| ⑱通研月報 6巻10号, 11号 | |
| ⑲科学研究所報告 27巻5号, 6号 | 科学研究所 |
| ⑳機械試験所所報 8巻1号 | 機械試験所 |
| ㉑気象研究所政文報告 4巻2号 | 気象研究所 |
| ㉒計測 3巻6号, 4巻1号 | |
| ㉓農業技術研究所報告 A1, 2. B 1, 2. C 1, 2, 3. D 1, 2, 3, 4 | |
| ㉔分析化学(日本分析化学会員名簿) | 日本分析化学会 |
| ㉕セメント 39号 | セメント協会 |
| ㉖化学と工業 6巻12号, 7巻1号 | 日本化学会 |
| 富士写真フィルム研究報告 1号 | 富士写真フィルム株式会社研究所 |
| 岐阜薬科大学紀要 3号 | 岐阜薬科大学 |
| ㉗国立遺伝研究所年報 28年 | 国立遺伝研究所 |
| ㉘名古屋市立大学薬学部紀要 1号 | 名古屋市立大学薬学部 |
| ㉙" 医学会雑誌 4巻3号 | 医学会 |
| ㉚Mie Medical Journal Vol. 3, No. 2 | 三重医科大学紀要編集室 |
| ㉛齒科医学 16巻3号 | 大阪齒科大学 |
| ㉜Journal of the Institute of Polytechnics Vol. 4, No. 2 | |
| ㉝神戸医科大学紀要 4巻2号 | 神戸医科大学 |
| 学術報告 5巻1号 | 香川県立農科大学 |

C 文学 語学

- ⑤ Congreve, William (Charles, A.C. ed.) C40. 1294
William Congreve. London, 1949
- ⑤ Troubetzkoy, N.S. (tr. by J. Cantineau) C50. 93
Principles de phonologie. Paris, 1949
- Russell, Bertrand C50. 94
An inquiry into meaning and truth. London, 1940

D 历史 地理

- ⑤ Morse, Hosea Ballou D12. 26, 1-5
The chronicle of the East India Company trading
to China. Vol. 1-5., Oxford, 1926
- ⑤ Karunakaran, K. P. D12. 27
India in world affairs, August 1947-January 1950,
London, 1952
- ⑤ Huntington, Ellsworth & others D31 139
Principles of human geography, New York, 1949
- ⑤ Blache, P. Vedal De La D31 140-1
Principles de géographie humaine. Paris, 1948
- ⑤ Hadlow, Leonard D32. 210
Climate, vegetation & man. London, 1952

E 政治 法制 经济

- Cairns, Huntington E20 13
Legal philosophy from Plato to Hegel. Baltimore, 1949
- ⑤ Neff, J. U. E30. 40. 1-2
The rise of the British coal industry. Vol. I. II
London, 1932
- Smith, Adam E30. 41
An inquiry into the nature and causes of the
wealth of nations. New York, 1937

F 数学

- ⑤ Eisenhart, Luther Pfahler F30. 385
Riemannian geometry. Princeton, 1949
- ⑤ Maak, Wilhelm F30. 386
Fastperiodische Funktionen. Bd. LXI.
Berlin, 1950

- ⑤ Chapman, Sidney & T.G. Cowling F30 387
The mathematical theory of non-uniform gases.
London, 1952

H 自然科学 (II)

- ⑤ Kronig, R. de L. H10 651
Band spectra and molecular structure. London 1950
- ⑤ The Physical Society H10 405. 16
Reports on progress in physics. Vol. XVI.
London, 1953
- Milne-Thomson, L.M. H10 653
Theoretical aerodynamics. London, 1952
- ⑤ The Auspices of the Washington Square College of Arts
& Science. H10. 655
The theory of electromagnetic waves. New York,
1951
- Adam, Neil Kensington H20. 130
The physics and chemistry. London, 1941
- Adams, Roger & John R. Johnson H22. 106
Laboratory experiments in organic chemistry.
New York, 1952

L 美術 諸 芸 体育

- Arbemy, A. J. (ed.) L10. 41
The legacy of Persia. Oxford, 1953
- Hammacher, Arno L30. 53
Van Gogh, the land where he was born and
raised, A photographic study. Hague, 1953

M 雜 書

- Radt, F (ed.) M30. 77
Elsevier's encyclopaedia of organic chemistry,
Series III. Carboisocyclic condensed compounds.
Vol. 1. 12B. New York, 1953
- ⑤ Herder & Co. (ed.) M30. 101.2
Lexikon der Pädagogik, II Bd, Freiburg, 1953
- Herder & Co. (ed.)
Der grosse Herder 2Bd, Freiburg, 1953
- Withycombe, E, EG.
The Oxford dictionary of English Christian
names. Oxford, 1950

食物史	森末義彰、菊地勇次郎著	J70.126
西洋料理 上、下	深沢有史著	" . 127.1-2
調理科学実験指導書	後藤たへ春	J71.278
新訂食田栄養価要覽	国立栄養研究所国民栄養振興会編	" . 279

K 産業 交通 通信

健康な村(村の図書館)	若月俊一著	K10.292.1
米の増産(")	川田信一郎、渡辺成美著	" . 2
市場 - 野菜、果物 - (")	御厨喜博著	" . 3
女の一生(")	丸岡秀子著	" . 4
村の政治(")	浪江 虔著	" . 5

L 美術 諸芸 体育

日本書道教育史	奥山錦洞著	L20.110
水彩名作選 2	美術出版社編	L30.286.2
ゴッホ I, II	"	" . 296.1-2
山岳写真集(朋文堂山岳文庫2)	風見武秀著	L31.254.2
日本民謡集	西郷信綱、坂下圭八、境野みち子共編	L40.524.
今日のフランス音楽	松本太郎著	" . 525
西洋音楽の鑑賞	小松 清著	" . 526
③音楽はどう思想を表現するか	S. フィンケルシュタイン著 田村一郎訳	" . 527
音楽のためのしみ ④巻 音楽の要素	ロラン・マニユエル著 吉田秀和訳	" . 528
わたしは作曲家である	A. オネゲル著 吉田秀和訳	" . 529
音楽と人生	田中耕太郎著	" . 530
アメリカ野球技術(講談社スポーツ叢書)	イーザン・アレン著 内村祐之訳	L82.202.7
私のピッチング(")	ポップ・フェラー著 内村祐之訳	" . 8

M 雑 書

世界統計年鑑 1952	国際連合統計部編 美濃部亮吉訳	M10.150.1
④ " "	"	" . 149.1
大人名事典 ①1巻 アーオン	平凡社編	M30.404.1
哲学入門辞典	哲学入門辞典編集部編	" . 405
毛織物事典	大野一郎編	" . 406
⑤桂宮本叢書 ②2巻	宮内廳書陵部編	M40.294.2B
佐佐木信綱全集 ①16巻 評釈万葉集巻6	佐佐木信綱著	" . 341.6
産 歴	宮嶋資夫著	M50.206
モスクワの赤い灯	坂田二郎著	" . 207
サム・アメリカン・ピープル	E. ゴールドウエル著 北村小松訳	" . 208
私は流行をつくる(一時間文庫)	クリスティアン・ディオール著 朝吹登水子訳	" . 209
人間模様	渡辺一夫著	" . 210
私の眼(読売新書)	坂西志保著	" . 211

日本の五人の紳士	フランク・ギブニイ著 石川欣一訳
口紅から機関車まで 上、下	R. ローウイ著 藤山愛一郎訳
世界におけるアメリカ観	加瀬俊一、篠原正英外3氏著
図書館の修理と製本	伊藤 明著

FOREIGN BOOKS

A 哲学 教育

Lossky, N.O.	A10.381
History of Russian philosophy. London, 1952	
Joad, C.E.M.	A10.382
Philosophical aspects of modern science. London 1932	
Aristotle (tr. by H. Rackham)	A13.742
The Athenian constitution, the Eudemian ethics on virtues and vices. (The Loeb Classical Library). London, 1952	
Collingwood, R.G.	A13.78
An essay on metaphysics. Oxford, 1948	
Durant, Will	A13.79
The pleasures of philosophy. New York, 1953	
Passmore, J. A.	A13.80
Hume's intentions. Cambridge, 1952	
Beck, L.J.	A13.81
The method of Descartes. Oxford, 1952	
Mukerjee, Radhakamal	A14.196
The dynamics of morals. London, 1950	
⑥Stone, Calvin P. (ed.)	A16.446.4
Annual review of psychology. Vol.4. Stanford, 1953	
⑦Mace, C.A. & P.E. Vernon (ed.)	A16.497
Current trends in British psychology. London, 1953	
⑧Malinowski, Bronislaw	A19.18
Freedom and civilization. London, 1947	
Lodge, R.C.	A20.458
Plato's theory of education. London, 1947	
⑨UNESCO (ed.)	
Women and education. Paris, 1953	
⑩Landis, Paul H.	A24.16
Adolescence and youth. New York, 1952	

林芙美子集(昭和文学全集19) 林芙美子著 C22.310.19
 芥川竜之介集(" 20) 芥川竜之介著 " " 20
 高村光太郎、萩原朔太郎集(" 22) 高村光太郎、萩原朔太郎著 " " 22
 過去のない女 II (岩波現代叢書) S. グルーサー著 水野 亮訳 C40.256.2
 自由の民 下 (ソヴェト文学全集 第10巻) フ. グラトコフ著 井上満訳 " 312.10
 ステパン・ラージン 下 (" 第16巻) C. スロービン著 岩上順一訳 " " 16
 レ・コミニスト 5. ルイ・アラゴン著 アラゴン刊行委員会訳 " 326.5
 最初の体験 — 子供の国の物語 — (白水社世界名作選) シュテファン・ツァイク著 川崎芳隆訳 C40.337.14
 谷間の百合 上 (") オノレ・ド・バルザック著 宮崎敏雄訳 " 15
 失われた時を求めて 第3巻 ゲルマン・ド・ラ・ポワズール著 伊吹武彦、佐藤 共訳 C40.390.3A
 " " " " " " 3B
 襲来 レオニード・レオノーフ著 篠一平訳 C40.404
 祭園に死す S. アンドレス著 江野専次郎訳 " 405
 青い翼の小僧 W. ステアナー著 平松幹夫訳 " 406
 魅せられた魂(世界文豪名作全集0) ロマン・ロラン著 大野俊一訳 " 407.10
 最初の衝突 オノ部 基地の人々 アンドレ・ステール著 河合 亨訳 " 408.1
 ④上代仮名遣の研究 — 日本書紀の仮名を中心として — 大野晋著 C60.353
 初級フランス語 大村雄治著 C80.86

D 歴史地理

解説世界史年表 吉岡 力編 D10.222
 日本文化史 別録4 辻 善之助著 D11.910.11
 現代日本の歴史 上、下 井上清、小此木眞三郎、鈴木正四著 " 1033.1-2
 日本の歴史 — 「くにのあゆみ」批判 井上清著 " 1034
 東洋中世史(有斐閣全書) 和田清、守屋美都雄、村上正二著 D12.39.1
 ある歴史家の生い立ち — 古史辨自序 — 頼顕剛著 平岡武夫訳 D14.618
 種子を粉にひくな — ケエテ・ゴルヴィツの日記と手紙 — 鈴木マリオン訳 " 619
 私の名はおんな記者 松田ふ、子著 " 620
 カール・マルクス 第1巻 フランツ・メーリング著 栗原佑訳 " 621
 日本結髪全史 江馬務著 D20.154
 都市地理学研究 木内信藏著 D31.117
 地形の話 辻村太郎著 D32.161
 ソヴェト無銭旅行 T. ヴィットリン著 田中融一訳 D35.182
 カイミロア — 丸木舟の三大洋横断記 — E. ビンヨップ著 刈田 澄訳 D38.45

E 政治法制経済

毛沢東選集 第6巻 抗日戦争の時期(下) 毛沢東選集刊行会編訳 E10.175.6
 欧洲最近外交史 林毅陸著 " 262
 暴力なき革命 — イギリス労働党の歩み — K. H. アプスハーゲン著 中原孝一訳 " 263
 中国解放斗争史 鈴江言一著 " 264
 権力思想史 ゲルハルト・リッター著 西村貞二訳 " 265
 永年平和の条件 日本太平洋問題調査会編 " 266
 アメリカ述コース I. F. ストーン著 内山敏訳 " 267

法律学を志す人々へ(教養全書) 牧野英一著 E20.415
 憲法(新法学全書2) 鈴木安蔵著 " 416
 日本国憲法原論 美濃部達吉著 " 417
 経済学史 上、下 デイ・ローゼンベルグ、イ.ゲ.クレーミン共著 広島定吉訳 E30.483.1-2

F 数学

誤差論 一瀬正吉著 F30.339
 ④定積分表 ビラン・ドゥ・アーン著 F50.202

G 自然科学(1)

自然の進化 — 時の矢と生物進化 — ハロルド・ブラム著 鏡目恭雄訳 G10.269
 原色日本高山植物図譜 牧野富太郎著 G20.317
 昆虫記 1 アンリ・ファーブル著 大杉栄訳 G30.457.1
 日本獣類図説 黒田長礼著 G30.458
 最近の職業病 ス保田重孝著 G40.360
 原子力と医学 — アイソトープの医学的利用 — 森信胤著 " 361
 現代病 — おのれを失える人びと — 井村恒郎著 " 362
 マスペルス精神病理学総論 上 内村祐之訳 " 363.1
 新薬(アサヒ相談室) 宮本高明著 " 364
 現代のソヴェト医学 — 理論と実際 — 東京大学ソヴェト医学研究会編訳 " 365
 教職員のための結核読本 公立学校共済組合東京支部編 " 366
 心の衛生 — 精神生活の了解とその衛生 — 黒田正典著 G41.260
 健康教育の強調運動 — 計画、実践、資料 — 荷見秋次郎、下田巧共著 " 261
 粘土鉱物(岩波全書) 須藤俊男著 G50.128

H 自然科学(2)

伝播電播(岩波全書) 前田憲一、須藤三男共著 H10.714
 量子力学演習 小笠原万庵三郎著 " 715
 家事物理学 武井俊一郎著 " 716
 高分子化学 櫻田一郎、祖父江寛共著 H20.142
 有機化学の理論 I、II. G.E.K. アラン、M.C. オルウェン共著 小方秀郎訳 H22.190.1-2
 核酸 江上不二夫、塚谷篤弘共著 H22.191
 有機合成最近の進歩 第1集 下 応用篇 有機合成化学協会編 " 192.1B
 天工開物の研究(京都大学人文科学研究報告) 藪内清編 H30.244
 自然科学的世界像 W. ハイゼンベルグ著 田村松平訳 " 245
 自然科学史概論 上、中、下 岡邦雄著 " 246.1-3
 応用家庭科学 田中光一著 " 247

J 家事

新しい化学繊維の知識 松川哲哉著 J51.209

新着図書リスト

△下記リスト中○印のあるものは○内に示された各研究室、或は各課に配備された図書であることを意味します。

△本リストは逐次掲載されますから図書目録として御使用になれば便利です

A 哲学教育

デカルト (岩波現代叢書)	H.ルフェーヴル著 服部英次郎、青木靖三共訳	A13.	81
実存理性の哲学 — マスパーズ哲学に即して —	金子武蔵著	〃	82
新しい道徳教育 その内容と指導	山田 栄、篠崎謙次共著	A14.	368
心理戦争	ポール・ラインバーク著 須磨彌吉郎訳	A16.	455
青年心理学	馮永重次著	〃	456
芸術形象の心理 — ことばのリズムを中心として — (収教育新書)	相良守次著	〃	457
はたらくものの国 — 新中国をつくる原動力 — 「理論」編集部編		A18.	312
恐怖に代えて (岩波現代叢書)	A.ベヴァン著 山川新次訳	〃	313
産業における人間関係 (社会学叢書)	尾高邦雄著	〃	314
英国社会主義 — ロバート・オーエン —	浅井喜久雄著	〃	315
知識階級	テオドル・ガイガー著 鈴木幸寿訳	〃	316
家族 (岩波全書)	清水盛光著	〃	317
友情論	アベル・ボナール著 大塚幸男訳	A19.	93
人生の見方、考え方	H. A. オーヴァストリート著 内山敏訳	〃	94
簡素な生活 — 一つの幸福論 —	シャルル・ヴァグネル著 大塚幸男訳	〃	95
教育的人間	正木 正著	A20.	460
女体美大系3. 女体の人種美	C. H. シェトラッツ著 高山洋吉訳	A22.	154.3
女性のための二十四章 (白燈叢書)	古谷綱武著	〃	155
日本の社会科	勝田守一、宮原誠一、宗像誠也編	A24.	107
複式学級の学習指導	文部省編	A25.	97

B 宗教

理性と信仰	カール・ハイム著 谷口美智雄訳	B10.	92
原始佛教に於ける般若の研究 (大倉山紀要8.)	西 義雄著	B30.	196
信仰告白 — ジュネーブ教会信仰問答講解 —	カール・バルト著 小平尚道訳		

C 文学語学

日本文学思潮 — 史的展開 —	久松潜一外氏共著	C10.	250
美しさ道	武島羽衣著	C21.	554